学校番号	1004

平成 31 年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	最新現代社会　実教出版						
副教材等	新版　クローズアップ　現代社会（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代社会の基本的な構造に迫る。
・社会的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・国際情勢を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

2　学習の到達目標

１．現代社会と人間について、広い視野に立って理解を深める。
２．現代社会の基本的な問題について、主体的に考え公正に判断する力や、人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養う。
３．自らの個性を発揮し、文化・福祉の向上、発展に貢献する能力と、平和で民主的な社会生活の実現、推進に向けて主体的に参加・協力する態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の基本的問題と人間に関わる事象に関して、意欲的に課題を追求し、社会的事象を考察する態度と平和で民主的な社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深める。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って考察および、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を適切に表現する。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方に関わる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート 小テスト 〔主題学習〕 振り返りシート	定期考査 ワークシート 〔主題学習〕 グループ学習での発表	定期考査 ワークシート 〔主題学習〕 ポスター	定期考査 〔主題学習〕 内容のまとまり

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	わたしたちの生きる社会	◇破壊される地球 ◇地球環境問題への取り組み ◇限りある資源 ◇エネルギーの開発と利用 ◇人口問題と飲料・水資源 ◇人間の生死と生命科学 ◇遺伝情報と利用の諸課題 ◇高度情報化社会と情報倫理	○ ○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	 ○ 	 ○ ○ ○ ○	a:単元の内容に関心を示し、設定した課題を意欲的に追究し、自己の在り方生き方と関連させながら考えている。 b:単元の内容に関する課題に対して、多様な立場や考え方を踏まえて考察し、発表などを通して自分の意見を表現している。 c:単元の内容に関する資料を収集し、学習に役立つ情報を選択・活用している。また、統計や資料の見方なども身に付けている。 d:単元の内容を意欲的に学習し、問題点を追究する観点として、倫理や社会、文化などの観点があることを理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート
	青年期と自己の形成	◇青年期とは ◇自己形成の課題 ◇職業生活と社会参加 ◇哲学と人間 ◇宗教と人間 ◇科学と人間 ◇自由の実現 ◇人間と幸福 ◇人間性の回復と主体性の確立 ◇他者の尊重 ◇古代日本人の思想と仏教思想の展開 ◇外来思想の受容と日本の思想	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	a:単元の内容に関心をもち、青年期の意義や人間の尊厳などを追究し、自然観や倫理観について考えている。 b:青年の生き方から課題を見いだし、青年期の意義や人間の尊厳などについて考察し、結果を口頭や文章などで適切に説明している。 c:単元に関する資料を収集し、学習に役立つ情報を選択・活用している。 d:青年期の意義や人間の尊厳などについて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

1学期	現代の民主政治と日本国憲法	◇民主政治の成立 ◇民主政治の基本原理 ◇民主政治のしくみと課題 ◇世界の主な政治制度	○ ○ 	 ○ ○	 ○	○ ○ ○ 	a:近代政治と人権保障の歩みを理解し、国民主権などの基本原理と政治制度の多様性をとらえている。 b:人権思想と近代国家の発展の歴史に関心をもち、人権尊重の視点から、民主主義の基本原理の特質を理解し、文章などで適切に説明・表現している。 c:近代の人権思想の歩みや民主国家の政治原理、現実の政治機構との関わりを、関連書籍やメディアを通じて収集し、選択・活用している。 d:近代民主政治の歩みと歴史的宣言・文書を通じて、民主主義の原理の形成過程を理解している。	定期考査 ワークシート
2学期	現代の民主政治と日本国憲法	◇日本国憲法の成立 ◇日本国憲法の基本的な性格 ◇自由に生きる権利 ◇平等に生きる権利 ◇社会権と参政権・請求権 ◇新しい人権 ◇人権保障の広がりと公共の福祉 ◇平和主義とわが国の安全 ◇こんにちの防衛問題 ◇政治機構と国会 ◇行政権と行政機能の拡大 ◇公正な裁判の保障 ◇地方自治と住民福祉 ◇政党政治 ◇選挙制度 ◇世論と政治参加	○ ○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:単元の内容に関心を高め、民主社会に主体的に生きる人間の在り方を意欲的に追究し、考えている。 b:単元の内容に関して課題を見いだし、個人や国家の役割、民主政治の基礎的な考え方などを考察し、結果を口頭や文章などで適切に説明している。 c:単元に関する資料を収集し、学習に役立つ情報を選択・活用し追究している。 d:単元について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

2学期	現代の経済社会と国民生活	◇経済主体と経済活動の意義	○		○		a:単元の内容に関心を高め、内容を意欲的に追究し、経済活動の在り方や労働問題の現状ついて考えている。 b:単元の内容に関する課題を見いだし、個人や企業の経済活動における社会的責任について考察し、結果を口頭や文章などで適切に説明している。 c:現代の経済社会に関する資料を収集し、学習に役立つ情報を選択・活用している。 d:単元について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
		◇経済社会の変容	○			○		
		◇市場のしくみ	○		○			
		◇市場の失敗		○		○		
		◇現代の企業			○	○		
		◇国民所得		○		○		
		◇経済成長と国民の福祉		○	○			
		◇金融の役割	○		○			
		◇日本銀行の役割	○			○		
		◇財政の役割と租税	○			○		
		◇日本の財政の課題		○	○			
		◇戦後復興から高度経済成長へ	○			○		
		◇安定成長からバブル経済へ			○	○		
		◇日本経済の課題		○	○			
		◇日本の中小企業			○	○		
		◇日本の農業		○	○			
		◇消費者問題		○		○		
		◇公害の防止と環境保全		○	○			
		◇労働問題と労働者の権利	○			○		
		◇こんにちの労働問題		○	○			
		◇社会保障の役割			○	○		
		◇社会保障制度の課題		○	○			
3学期	国際社会と人類の課題	◇国際社会と国際法	○			○	a:国際的な組織の役割や経済協力の必要性について意欲的に追究し、国際社会における日本の責任と役割について考えている。 b:国際政治に関する課題を見いだし、国際平和や経済協力の必要性及び国際的な組織の果たす役割について、結果を口頭や文章などで適切に説明している。 c:国際政治に関する資料を収集し、学習に役立つ情報を選択・活用している。 d:単元について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
		◇国際的な人権保障と国際政治		○	○			
		◇国際連合と国際協力	○			○		
		◇冷戦の成立とその崩壊			○	○		
		◇こんにちの国際政治	○	○				
		◇人種・民族問題			○	○		
		◇軍拡競争から軍縮へ			○	○		
		◇国際平和と日本の役割	○		○			
		◇貿易と国際収支	○			○		
		◇外国為替市場のしくみ	○		○			
		◇第二次世界大戦後の国際経済	○			○		
		◇地域的経済統合の進展	○		○			
		◇こんにちの国際経済			○	○		
		◇発展途上国の諸課題	○		○			
		◇経済協力と日本の役割						

3学期	共に生きる社会をめざして	◇WTO体制と発展途上国 ◇個人の自由と持続可能な社会	○	○	○	○	a:多文化共生社会を実現させるために、必要な個人の在り方生き方について考えている。 b:単元に関する課題を見いだし、国際機関や政府レベルの政策に加え、ＮＧＯなどの役割なども考察し、結果を口頭や文章などで適切に説明している。 c:単元に関連する資料を収集し、学習に役立つ情報を選択・活用している。 d:単元に関する課題の解決策について理解し、その知識を身に付けている。	レポート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。